



平成27年10月23日

岡山大学上海事務所を開設

岡山大学は10月1日、中華人民共和国上海市に岡山大学上海事務所を開設しました。

岡山大学の海外事務所は、留学生に関する業務や、外国の研究機関等との共同研究、学術・教育交流の推進、情報発信等を行っています。特に、中国における経済、文化などの最重要都市に置く本上海事務所は、中国戦略の拠点となるリエゾンオフィスとしての機能を持たせます。このことから、同事務所は、本学と大学間協定を結んでいる上海理工大学内に設置しました。

また、10月29日には、同事務所で開所式を行います。森田潔学長をはじめとする本学関係者、関係大学、本学同窓生等が出席します。

1. 上海事務所の設置経緯について

本学の海外事務所は、留学生に関する業務、外国の機関等との共同研究、学術・教育交流の推進、情報発信を主な目的として設置しています。

上海は岡山空港からの定期就航便もあり、岡山とのアクセスも良く、留学交流や本学の情報発信を行うための条件が良いことから、中国における活動をさらに推進するため、本学の協定校である上海理工大学内に事務所を設置しました。

2. 開所式の出席者について

岡山大学 森田潔学長、荒木勝理事（社会貢献・国際担当）、山本洋子副学長・グローバルパートナーズセンター長、穴沢一夫調整役、張紅国際同窓会会長・社会文化科学研究科教授など10人程度

上海理工大学 胡寿根学長、田蔚風副学長、馬曉婷国際交流所所長、劉芹外語学院院长、何偉銘日本文化交流センター主任など10人程度

学外の出席者 在上海日本総領事館、上海市教育委員会、中国銀行上海駐在員事務所、日中経済貿易センター中国事務所など、岡山県の上海駐在企業等、また、岡山大学の国際同窓会上海支部など多数ご出席の予定です。



PRESS RELEASE

3. 上海理工大学の概要

上海理工大学は上海市にある重点大学。「理工大学」と称していますが、工学をメインに、理学、管理学、経済学、文学などを協調発展した教育・学術体系を展開しています。同大学は1906年に創立された滬江大学にルーツを持ち、100年以上の歴史のなかでさまざまな統合や改革の変遷を経て現在の形となっています。

- 組織 18 学院（学部）、1 教育学部、30 研究所、12 研究センター、4 研究院
- 教職員数 1,500 人
- 学生数 24,000 人（学部生 17,700 人、大学院生 6,300 人、留学生 1,000 人）

【岡山大学との交流実績】

平成 22 年 9 月、言語教育センターから本学学生と教員約 20 人で上海理工大学を訪問し、日本語系の学生と交流。

平成 23 年 5 月、言語教育センターの主管とし大学間協定を締結。

平成 23 年度～26 年度

「上海理工大学交流プログラム」として年間 12 人程度相互派遣を 4 回実施。

同時に、言語教育センター教員による「中国語教育と日本語教育に関する基礎研究」に関する共同研究を実施し、「中国語教育に関する基礎研究」に関するシンポジウムまたは「日本語教育に関する基礎研究」に関する講演会を交互に開催。

平成 26 年 4 月、本学国際センター（現：グローバル・パートナーズ）から教職員 3 人が訪問し、大学院予備教育特別コースおよび短期留学受入プログラムにもとづき学生交流を行うことを協議し、26 年度 11 人、27 年度 14 人と現在まで多くの留学生を本学に受け入れている。

<お問い合わせ>

岡山大学グローバル・パートナーズ事務部

国際企画課 原田 美樹

（電話番号）086-251-7036

（FAX番号）086-252-5022